

長松梅合發
乃以束之也
誹諧花橘集

卷下

長松梅合發
乃以系之
誹諧花橘集

卷下

第二期 刊行書目 (大字既刊)

- 15 拾遺和歌集 上 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
 16 拾遺和歌集 下 伝二条為忠・世尊寺行忠筆本
 17 大海集 上
 18 大海集 下
 19 景 清
 20 長枕褥合戦・誹諧花橘集 下
 21 古今著聞集私記
 22 正統古事談・十訓抄私記
 23 源氏物語 上 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本
 24 源氏物語 下 伝冷泉為相他筆鎌倉期古写本
 25 新古今和歌集 一 伝龜山院・青蓮院道円親王筆
 26 新古今和歌集 二 伝龜山院・青蓮院道円親王筆
 27 新古今和歌集 三 伝龜山院・青蓮院道円親王筆
 28 針の供養
 29 後拾遺和歌集
 30 住吉物語

長枕褥合戦・道行京みやげ・誹諧花橘集 下

昭和五十四年十二月一日発行

編者 白方 勝

米谷 巖

刊行 愛媛大学 愛媛大学文学部国語国文学研究室内
 古典叢刊行会

松山市文京町三

印刷所 有限 青葉 図書印刷部

松山市小栗六丁目三三三

発行所 790 松山市小栗六丁目三三三
 青葉 図書

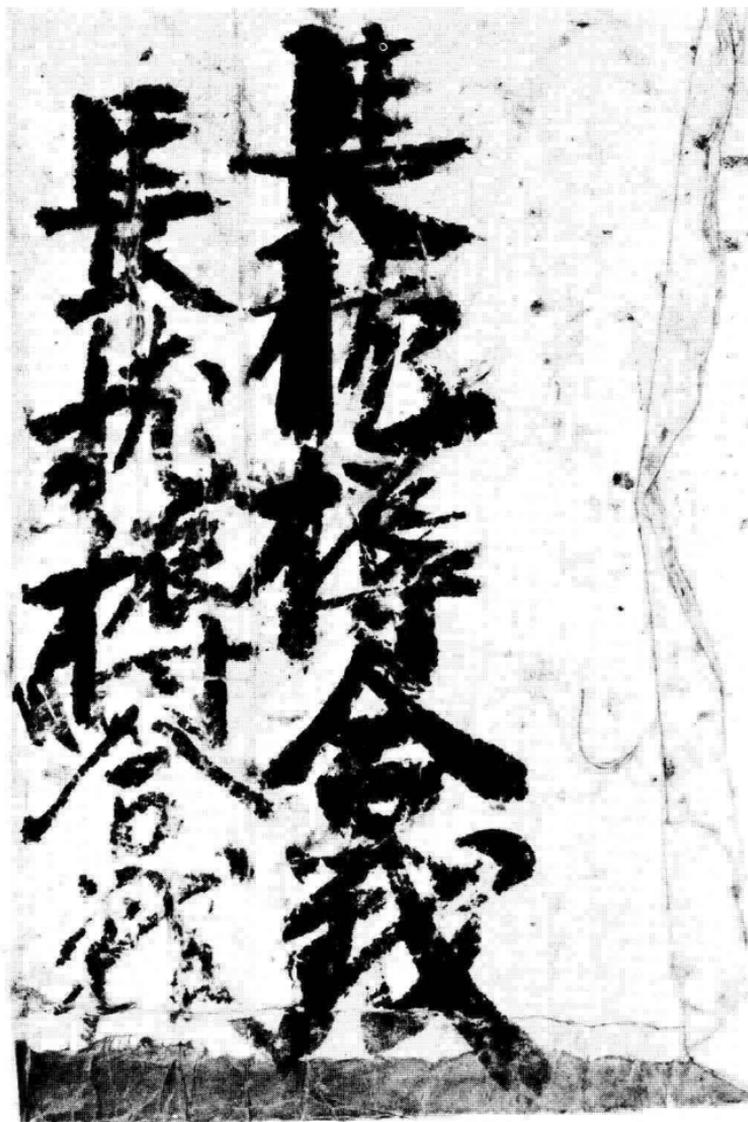
電話 (〇八九九) 四三一―一六五
 振替 徳島 六一一〇

目次

長枕褥合戦（安永刊）	一
附 同（万延元年刊）・表紙・緒言・序・諸家讚等	七五
道行京みやげ	九七
誹諧はなたちばな・卷之下	一二三
解説	一八九



表紙



見返

春のついでに女中様もいよいよ帰つて来たので
此を主従の間に仕立ぬまの仕立ぬまの
女中様のいふ事をいふ女中様のいふ事をいふ
此を主の事をいふ女中様のいふ事をいふ
女中様のいふ事をいふ女中様のいふ事をいふ
女中様のいふ事をいふ女中様のいふ事をいふ
女中様のいふ事をいふ女中様のいふ事をいふ
女中様のいふ事をいふ女中様のいふ事をいふ

も隙あらばなほつゝおなまをねらふ中あかたしあつと
事七也之好むらひやんとあつはひ入る日あつと
かてくかくひえんの上まで兼ぎまゝ文氣をゆきせ
とまのまに本原のあつびや甘平のあつとあつ
と今もあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと
いひあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

